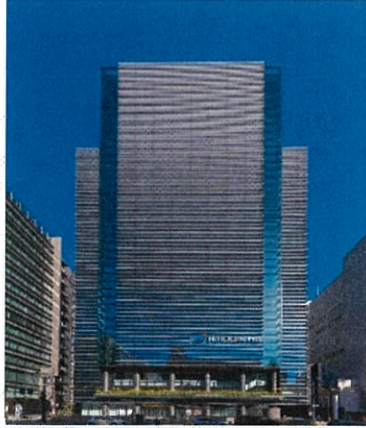


男性育児休業取得促進に向けた取組内容

両立支援企業 登録番号	41-5	【企業・事業所等の写真】 
(フリガナ) 企業名	カブシカイシャ ヒロギンホールディングス 株式会社 ひろぎんホールディングス	
所在地	〒730-0031 広島県広島市中区紙屋町1-3-8	
代表者名	部谷 俊雄	
T E L	082-245-5151	
E-mail	hbksaiyo@hirogin.co.jp	
ホームページ アドレス	https://www.hirogin.co.jp	
男性育児 休業等の 取得促進 に向けた 取組内容	<p>「育児は男女ともに行うものであり、女性だけでなく、男性も育児休業・短時間勤務を取得できる風土醸成が必要」というビジョンのもと、原則として以下の①②いずれか、またはそれに準じた制度の取得を促進。</p> <p>(2022年4月本制度開始以降、取得率100%)</p> <p>① 1か月程度の育児休業取得(分割可)</p> <p>② 5日以上育児休業取得+1か月以上の短時間勤務利用</p>	
取組のPR ポイント	<p>【従事者の声をもとに、短時間勤務と組み合わせた独自の制度】</p> <p>2022年2月に新卒1~3年目の男性職員175名に実施したアンケートの結果、9割が育児休業を望み、その内7割が1か月以上の取得を希望していることを把握。同時に、希望通り取得できないと考える理由として、「お客さま・同僚に迷惑がかかる」を挙げる職員が多いことが判明。</p> <p>その後、育児をしている社員を招いて実施した社内のダイバーシティ&インクルージョン推進会議では、「育児休業の長期取得より、平日早く帰宅してくれる方がありがたい」「単発ではなく長期的に育児に関わってほしい」というニーズを確認。</p> <p>これらの意見を踏まえ、2022年4月より「1か月程度の育児休業取得」「5日以上育児休業+1か月以上の短時間勤務」のいずれかを原則取得とする推進策を実施。加えて、「専業主婦の妻がいるので育児休業は取得不要」といった反応もあったことから、全組織長あてに社長からの手紙という形で、経営としてのメッセージを強く表明。その結果、2022年9月末時点で、対象者の100%が育児休業を取得すると申請。</p> <p>実際に育児休業を取得した職員からは「復職後も沐浴と帰宅後のおむつ替えは私の担当です。時には帰宅が遅くなることもありますが、奥さんにはこれまで以上に働くことを応援してもらっています。24時間子供と接することで日々の成長・変化も実感し感動を味わうことができました。子の誕生直後に夫婦で苦労を共有し分かり合える期間を持てたことが一番良かったので、この時期に取得してよかったです。」といったポジティブな声が寄せられている。</p>	